

「結露」「カビ」発生の予防

近年、サッシや玄関ドアの気密性の向上とともにお部屋の気密性は想像以上に向上しています。

そのため、給気口などを上手にを使って意識的な換気が必要です。

換気が十分になされないと結露が発生しやすくなり、カビの発生につながります。

結露の発生メカニズム

結露は暖かい空気が冷たいモノに触れて発生します。温度の低い玄関にリビングなどから暖かい空気が流れ込むと玄関が結露する場合があります。長期間の結露が続くと、水漏れと間違っほどの「結露水」で玄関の床がぬれる場合があります。

※結露がしにくいペアガラス等でも結露が発生する場合があります。また、アルミの部分では結露が発生しやすいです。

換気に気を付け、必要以上に室温をあげないことがポイントです

冬の季節は玄関や北側の居室は気温が下がります。壁やサッシなどの建具の温度も下がります。そのような季節には換気を行い、必要以上に室温を上げないように注意してください。

給気スリーブの汚れ予防

給気スリーブやその周りの壁は、外気により汚れます。給気スリーブフィルターの設置が汚れを防止します。

湿気をためないためにも、換気することが重要です

各階に2箇所「24時間換気機能」付の換気扇を設置しています。（3階部分は除く）。スイッチを入れると、その階にある2箇所の換気扇が作動します。浴室暖房乾燥機で空気を排出する際、給気スリーブは開けてください。

カビの除去方法

塩素系のカビ取り剤を塗り、所定の時間がたった後洗い流します。汚れがひどい部分には、ブラシなどで軽くこすって落としてください。

結露

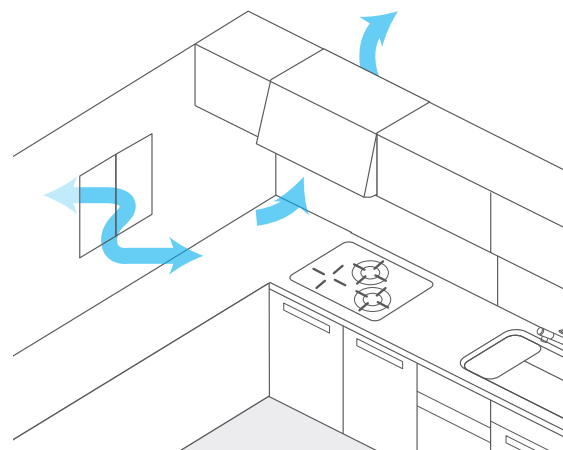
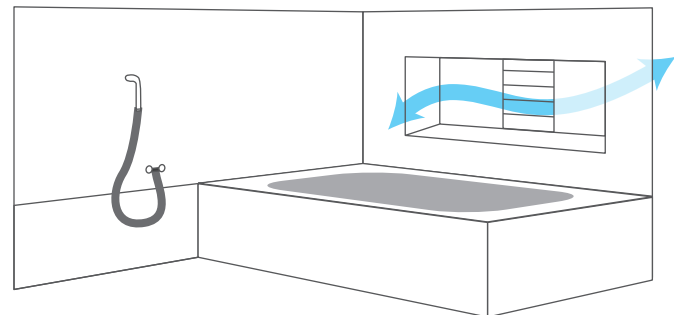
結露は壁面の汚れやカビの原因となります。窓を開けたり換気扇を回すなど、こまめな換気が必要です。

押入内の収納物は、壁面から離して置きましょう。定期的な換気を行い、湿度の高い時期には扇風機による強制換気をしてください。

結露が発生しやすい北側では、家具を壁から離しましょう。

浴槽の水蒸気を居室に入れないために、窓を開けたり換気扇を回すなどの換気をしてください。また、キッチンも同様に換気を心掛けてください。

ガラスやサッシについた結露水は、こまめに拭き取ってください。



湿気

湿気が多い場所では、通気や換気を行い、できるだけ乾燥した状態にしてください。

水蒸気を発生させる暖房器具は避け、エアコンや床暖房を使用しましょう。

室内で洗濯物を干す場合は、換気や除湿に気をつけましょう。

カビ対策

カビを防ぐために、エアコンなどで除湿をするか、窓を開けて風通しをよくしましょう。畳やカーペットなどは、日光に当ててください。

カビが発生したら、カビ取り剤などで取り除いてください。